

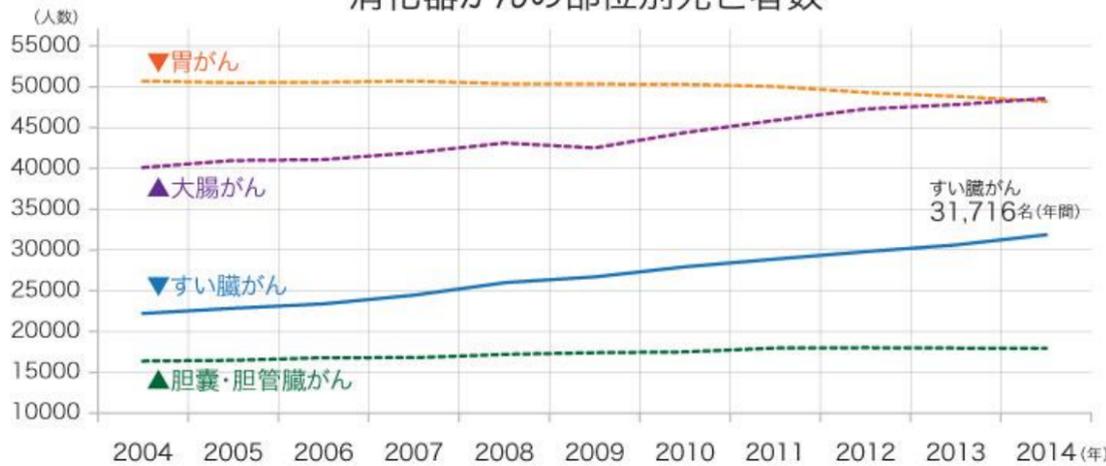
複数の長鎖脂肪酸を解析しすい臓がんのリスクを判定

「最悪のがん」 すい臓がん

すい臓がんによる死亡者数は年間 3 万人を超えと言われており、年々増加傾向にあります(1)。すい臓がんは「消化器系がん」の中でも痛みなどの自覚症状が少なく、「早期発見が難しいがん」(2)と言われており、がんの中でも対処が難しい「最悪のがん」として知られています。

(1)厚生労働省 人口動態統計によるがん死亡データ(2014) (2) 大阪赤十字病院 がん診療情報・がん診療センター

消化器がんの部位別死亡者数



「早期発見」が重要なすい臓がん

すい臓がんのステージ別5年生存率

すい臓がん	ステージ		5年生存率 (%)
	進行	IV	3~11
	III	24	
	II	44	
初期	I	57	

すい臓がんは自覚症状が少なく早期発見が難しい上に、進行が早いために重症化してしまうケースが多いとされています(3)。5年相対生存率をステージ別にみると、ステージ4では10%を切り、非常に低くなっており(4)。しかし、初期段階での発見・対処が出来れば、生存率は50%以上とも報告されており、早期発見・早期治療が非常に重要であると言えます。

(3)東京医科歯科大学 肝胆膵外科 (4) 国立がん研究センター がん対策情報センター がんの統計

すい臓がんのリスク因子と予防

リスク因子としては、慢性すい炎や糖尿病にかかっている、肥満、喫煙などが挙げられます(5)。また、家族歴もリスク因子として挙げられています。一方で禁煙や飲酒量を抑えること、バランスの良い食生活、適切な運動といった生活習慣の改善が、すい臓がんの予防に効果的といわれています(6)。

(5) 国立がん研究センター がん情報サービス 膵臓がん (6) 国立がん研究センター がん情報サービス 科学的根拠に基づくがん予防

すい臓がんのリスク因子と予防



(7) Goodenowe et al. BMC Cancer 2013, 13:416

Prodrome-PAC (すい臓がんリスク検査)は“すい臓がんのリスク”を調べる血液検査です。健康な状態からすい臓がんになる過程で特異的に減少する6種類の『長鎖脂肪酸』という物質(7)を測定し、すい臓がんのリスクを判別しています。採血のみの簡単な検査で、早期治療へのきっかけとして利用頂くことが可能です。

Prodrome-PAC 検査の報告書

Prodrome-PAC は脂肪酸の濃度を解析し、紙面で報告致します。評価は『低リスク』・『中リスク』・『高リスク』の3段階で判定となります。中リスクの方では、低リスクの方に比較して10倍程度すい臓がんの罹患リスクが高いとされています。高リスクの方では同様に100倍程度すい臓がんの罹患リスクが高いとされています。

注記 *Prodrome-PAC 検査は Canada の PRODROME SCIENCES Inc. が提供するサービスです。 ** (株)プリメディカでは 本社と日本国内における独占販売契約を締結しています。